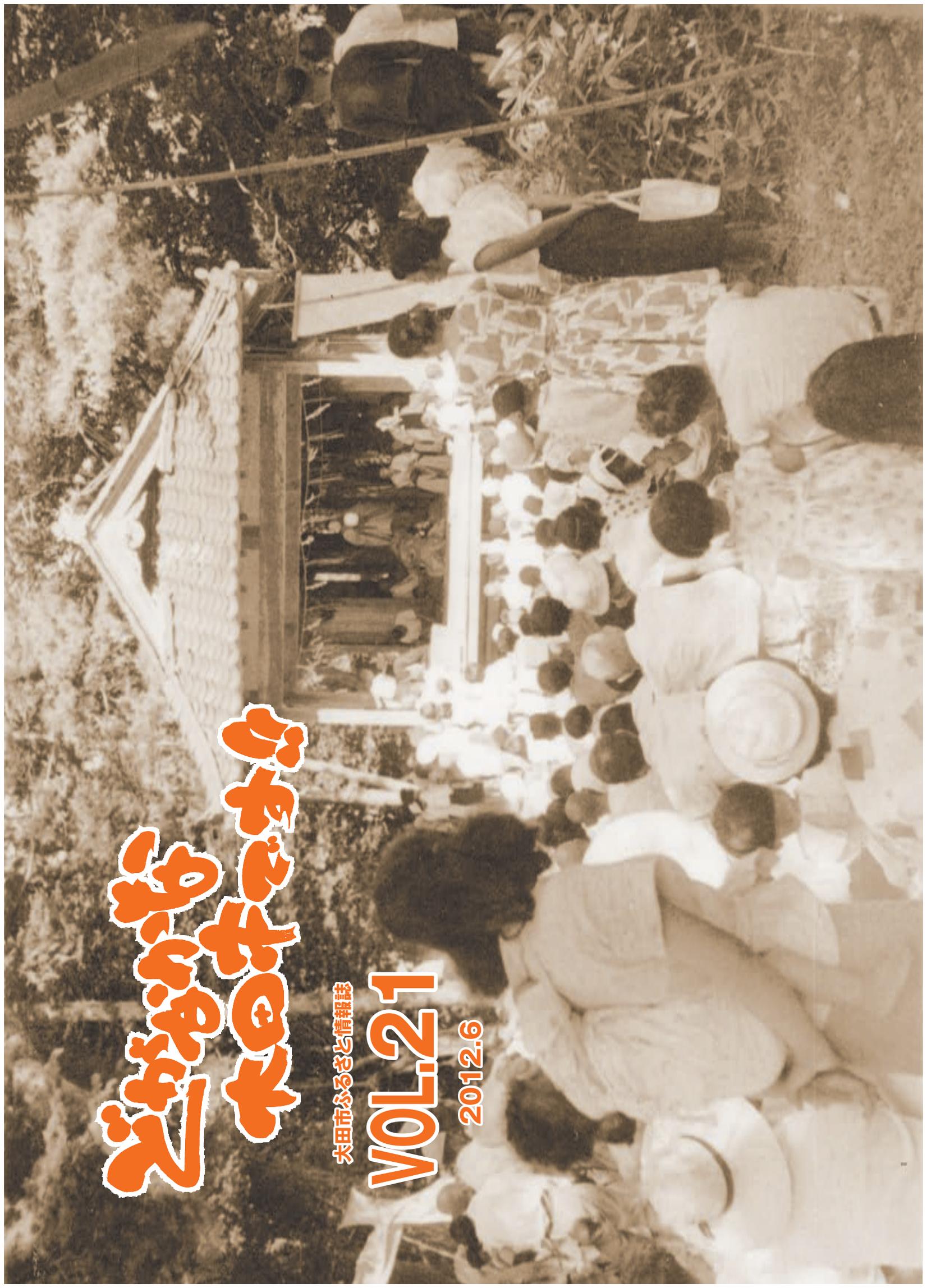


ながさの心 木田牛でまひ

大田市ふるさと情報誌

VOL.21

2012.6



農業参入で地域づくり

(株)トウチユウ温泉津事業所

温泉津町福光にある「株式会社トウチユウ温泉津事業所」(嘉戸重正所長)は、同町にある温泉津鉱山で、珪砂(びいしゃ)を採掘しています。

珪砂は、ガラス原料用や自動車エンジン等の鋳物材料用に使われるなど、その品質は、全国トップクラスといわれています。

この会社が、平成22年に農業参入による特産品(アムスメロン栽培)の生産に乗り出しました。



▶約1万㎡の工場跡地には、6棟のビニールハウスが並びます。今年産の栽培は、収穫期の夏に向かっています。今からが勝負になります。(写真後方は、建設中の仁摩温泉津道路)

工場内の跡地利用 何ができる

(株)トウチユウ温泉津事業所は、昭和39年に温泉津町福光に開設されました。

最盛期は、月産4万トンの採掘量がありました。近年、採掘量が減少し平成14年に工場を休止、平成19年に水洗工場を廃止し、その跡地利用について、地元貢献を含め、検討してきました。

このなかで、市町合併前の旧温泉津町が昭和56年から農産物振興で取り組んで

▶ハウスの基礎は土ではなく、コンクリートの上にブロックを積み上げていきます。土の姿がどこにも見当たりません



いるアムスメロンの栽培に着眼、約1万㎡ある跡地利用は、パイプハウスの建設に向けて、計画が進みま

した。工場跡地は、コンクリート舗装で覆われており、農地(耕作地)への再生には莫大な資金と時間がかかることから検討を重ねまし

た。また、当社では、農業参入が初めての計画であり、新規事業としての実現に向けて、島根県をはじめ大田市、JA石見銀山による支援が始まりました。

生産手段は 新栽培手法で

パイプハウスの建設は、現状のコンクリート舗装のままでも農業ができる「少量培地耕(通称トロ箱栽培)」の提案がJAからあり、導入に向けた検討が進みました。

トロ箱栽培とは、島根県農業技術センターで開発した「簡易型養液栽培」で、魚を入れる発砲スチロール(トロ箱)にヤシ殻を詰め、薄い液体肥料を流して作物を栽培します。材料も安く、簡単に入手でき、安定した栽培が可能な新しい農業技術です。

この手法で、現状のままの跡地利用が可能となりました。

試行錯誤 栽培は苦難の道

平成21年9月、試行錯誤の末、ハウス第1号(10m×40m)が完成しました。

平成22年には、2号(10m

×50m)を導入、平成23年には4棟が完成し、現在、敷地内には6棟(約30a)のハウスが建っています。トロ箱栽培という、この栽培方法は、県内でも益田市と大田市だけです。

新技術での栽培も、農業はやってみたいと結果は出ません。実情は、大変なものでした。なかでも、平成22年産のアムスメロンは失敗に終わりました。

原因は、経験不足による水分と肥料の与え方に問題があったようです。収穫間際になって、果実が裂ける被害が続出、半分のメロンだけしか出荷ができなかったのです。



▶縦横85×27センチのトロ箱が並べられており、箱の中は養液が流れているだけで、とても衛生的な環境で、すくすく育っているメロン

農業参入は 地域への貢献策

「(株)トウチユウの農業参入は、単に工場の跡地利用ということだけではありません。」と、嘉戸所長。昭和39年に温泉津町での創業以来48年になる温泉津事業所は、地域への貢献として何が出来るかを模索してまいりました。

森田勉司取締役社長の一貫した地域への貢献策は、この地での農業参入となりました。

アムスメロンの栽培は、新たな品目を栽培するのではなく、既に産地化とブランド化を形成していた「ゆのつメロン」の栽培者と協



▲55箱のト口箱の列が8列に並び大きなハウス内は、収穫期を2回に分けるため、まだメロンの花が咲いていました

メロンのご注文は…

島根県一の品質のメロンをどうぞ



進物用 (4玉入り) 3,675円
優品 (5~6玉入り) 2,940円

※送料が別途必要です。

いずれも5kg入りです。

J A石見銀山 温泉津支所

〒699-2511

大田市温泉津町小浜イ42-2

☎ 0855-65-2235

FAX 0855-65-2011

力すること、地域貢献ができるのではとの思いからでした。

ここでの大きな課題として、施設園芸組合の担い手不足、高齢化があり、この産地を守る取組みをも視野に入れての考えでした。

選任の指導員

J Aから採用

農業参入をするうえで、重要なのは生産指導体制でした。

当時は、J Aのバックアップで営農指導員が付きつきり、ハウスの設置から営農指導をやってきましたが、専属での指導が困難になった事情から、会社は、その指導員を採用する

こととなりました。

新たな農業事業部を作り、部長となった家迫和巳さんは、25年間勤めたJ Aを退職、トウチユウの新たな夢の実現に向けて、日々奮闘の毎日です

教訓を糧に

収穫率95%達成

平成22年産の教訓を糧に、データを蓄積し研究を重ねた家迫部長は、会社オリジナルのメロン栽培マニュアルを作成し、平成23年産はなんと95%以上の収穫率を上げました。

地域での収穫率の平均が約75%台ですから、驚きの収穫率であったとされます。今年24年産の生産に取り

組んでいる忙しい最中、「僅か30aの面積です。栽培面積が増えれば労働力の確保

が必要になり、地域も活性化します。」と熱く語っていました。

お話を伺いました



(株)トウチユウ 温泉津事業所

大田市温泉津町福光

ハの434番地

☎ 0855-65-2235

農業担当部長

家迫和巳さん(47)

ト口箱栽培が地域を救う 会社と一体となって地域 を盛り上げます

「トウチユウの嘉戸所長から農業参入のお話があったときは、正直嬉しかったです。これまで、温泉津町でアムスメロンや西条柿の産地づくりを取り組んでいましたが、特に心配してきたのは、農家の高齢化と担い手不足でした。この町の施設園芸組合は、最盛期の平成元年は27戸ありましたが、今では10戸足らず、平均年齢も60歳です。

担い手対策は行ってはいませんが、高齢化と農家減少の勢いには歯止めがかかりません。そこでお話の中に、『地域貢献』という言葉が出てきたとき決心しました。

この栽培方法は、色々な事情があるなかでの手段でした

が、凄いいりつがあるのです。土耕だと畝立作業があり機械を使わなくてはなりません。ト口箱栽培は農業機械を使わなくてもできるんです。それに土を使わないから病気にも強く、春秋2回収穫ができますし、ハウス内は土足厳禁で、消毒してから入るので衛生的なんです。

今後は、もっともっと生産

拡大したいと思えます。そうすれば人も必要になります。会社も地域も農業に興味のある人材が必要になります。」

【取材後記】 今回の取材は、企業が異業種への参入をどういう経過で取り組まれたのかを要点にしました。

この取組みは今後、地域づくりや定住への可能性が大きくあるものとして、紹介させていただきます。

小さな海里
今 奮闘中！



「マジで～す。馬路」



「マジで～す。馬路」
仁摩町馬路地区は鳴り砂琴ヶ浜で有名ですが高齢化率は、大田市でもトップをばく進中です。
なにしろ人口6277人の内75歳以上が257人で、50歳以上となると427人。10年後の人口激減は避けられません。
これといった地場産業もなく、また左官・大工の出稼ぎで繁栄してきたところで、今は、観光資源が唯一の頼みの綱となっています。
そんな中、3年前にまちづくりセンターができ、これからの馬路を考え、高齢者と共に様々な活動を模索しながら展開しています。
今回、その一部をご紹介しますとともに、馬路地区の行事・イベントのご案内をします。

住民による手作り 馬路っ子「卒業式」



大田市民の手による(音楽創作劇) 「琴の鳴る浜」 琴姫伝説



クリーン銀山 in 鞆ヶ浦



高齢者の買い物・散歩に、ベンチを町内に配置…。



馬路自主防災・隣人愛の手活動



「馬路情報」

石見銀山世界遺産センター サテライト「鞆館」



有償ボランティア活動 馬路おたすけ隊



地域を生かした情報発信と受け入れによる醸成事業



①②ボランティアガイド、
③琴ヶ浜清掃、④アンテナ
ショップ、⑤馬路菜園

少子高齢化と共に、人口が減っていく中、地域の世帯数も減っていきます。そのため、今後は地域だけでは解決できないことも想定されます。

地域活性化も地区外からの協力なしにはできなくなります。そんな時のため、地区外との交流や情報交換ができるよう受け入れる意識や体制が今の内から地元になければなりません。馬路は、職人の町なので少し苦手かもしれませんが、そんな氣質を少しでも変え、受け入れる意識を醸成できるように、一つのきっかけとして企画したのが二つの構想です。

◆ボランティアガイド構想

「鳴り砂琴ヶ浜」・世界遺産石見銀山「銀の積み出し港、鞆ヶ浦」・石州左官「鏝絵」を巡る「馬路ウォーキング観光コース」を案内します。

高齢者による案内です。専門家のガイドとはいきませんが、地元のものやま話に花が咲き、来訪者にも喜んでいただける交流の場になればと考えています。地元の多くの高齢者に参加を呼びかけ、体感してもらえれば、受け入れ意識も今以上に…と考えています。ガイドの立ち上げは、25年度予定です。

◆アンテナショップ構想

馬路の特産品の開発と菜園事業の二つをすすめています。

琴姫伝説から「塩」・「ストラップ」・「微小貝の幸袋」の琴姫グッズ。「ボベ飯」・「もろみ」等の事業者にも協力いただき、海産物・野菜・特産品を模索中です。

また、23年度は、アンテナショップを琴ヶ浜・温泉津やきもの祭り・地元文化祭・銀山公園に开店し、馬路をアピールしてきました。今後も継続し、拠点づくりも計画中です。高齢者の参加者にも喜ばれており、活性化に向け今、参加者拡大に力を入れています。

馬路は伝統行事を今も守っています

馬路3大行事 ●馬路の4つの宝



琴ヶ浜町民運動会



鳴り砂「琴ヶ浜」



銀の積み出し港「鞆ヶ浦」



乙見神社秋祭り



石見の三聖人 囲碁の名人 本因坊「道策」



石州左官「鏝絵」



琴ヶ浜盆踊り

【問】馬路まちづくりセンター ☎0854-88-9070

お知らせ

楽しさ満載!!
夏まつりだ!!

世界遺産登録5周年記念事業
銀の積み出し港

「鞆ヶ浦」港まつり

9時30分～15時

8/15 (水) 開催

漁船による海上パレード、海から見た石見銀山「島巡り」、石見神楽上演、世界遺産センターサテライト施設「鞆館」見学会、カヌー体験、飲食・特産品コーナー、その他企画イベントなど





Walking Museum

世界遺産登録5周年の節目を迎える2012年、石見銀山を擁する大田市では、地域の魅力をゆっくりとめぐり体験していただく観光まちづくりキャンペーンを展開してまいります。

石見銀山発見の海路を体感 〈沖泊一輛ヶ浦〉漁船クルーズ

1526年、博多の豪商神屋寿禎が石見沖を航行中に発見したと伝えられる石見銀山。その海路を体感する漁船クルーズでは、銀鉱石の積出港として栄えたヶ浦や銀山への物資補給が行われた沖泊などを巡ります。

- 発着場所：温泉津港
- 運行期間：6/23～7/19の金土日祝、及び7/20～8/26(1日3便)
- 所要時間：約1時間
- 乗船料：大人：1,500円、小人：500円

お申込み・お問合せ
銀の道商会 ☎050(3784)0955



毎週土曜は神楽の舞 ゆのつ温泉夜神楽

重伝建に選定された情緒あふれる温泉町の中ほどにある龍御前神社は、かつて温泉津の港を賑わせた北前船の守り神として信仰を集めました。その社殿を舞台に、華麗で勇壮な石見神楽の舞が披露されます。

- 開催場所：温泉津温泉街・龍御前神社
- 開催期間：6月～3月の毎週土曜日 ※12/29を除く
- 開催時間：午後8時～9時
- 拝観料：お一人：500円 ※中学生以下は無料

お申込み・お問合せ
温泉津温泉旅館組合
☎0855(65)2515(ますや)



神話博しまね～石見銀山周遊 石見銀山らとちゃんバス

出雲と石見銀山の主要スポット(銀山公園・仁摩サンドミュージアム・温泉津温泉)を結び、神話博しまね開催期間限定の周遊バス。当日乗車も可能で、選べるサービスチケットプレゼントなどお得な特典もついています。

- 発着場所：出雲市駅(10:30発/16:30着)、神話博しまね(11:00発/17:00着)
- 運行期間：7/21～11/11(神話博しまね開催期間内)の土日祝、及び8/13～17
- 所要時間：約6時間
- 乗車料：大人：2,000円、小人：1,500円 ※1便あたりの最大乗車定員は24名

お申込み・お問合せ
株式会社トラベルクリエイティブ ☎0853(22)3045



石見大田を奏でる Ginzan Walking Museum 劇場

石見地方の伝統芸能石見神楽や力強い和太鼓の響き、お年寄りから子ども達まで地域の人々が取り組む楽器演奏、歌、踊りなど、キャンペーン期間中に開設される特設ステージでは様々な催しが繰り広げられます。

- 開催場所：大森・銀山公園(特設ステージ)
 - 開催期間：6/23～12/24の土日祝 ※予定
 - 観覧料：無料
- ※開催内容・時間等の詳細はホームページ・ガイドブックなどでご案内いたします。

お申込み・お問合せ
大田市観光協会 ☎0854(89)9090



【問】「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録5周年事業実行委員会事務局：大田市役所観光振興課 ☎0854-82-1600 (内線245)



1,260円 (30g × 2袋)

岡富商店 (久手町)
「一日漁」の甘鯛あぶリスモーク
旬の甘鯛をこだわりの製法で仕上げ、桜チップで香りをつけた商品です
☎0854-82-8102



315円 (50g)

渡邊水産食品 (久手町)
味付け豆あじ
地元の原料を使い、安心して食べていただける無添加自然食品です
☎0854-82-8011



420円 (200g)

SANBE BURGER (三瓶町)
さんべバーガーのハンバーグ
手作りの地産地消ハンバーグ、オリジナルのデミグラスソースが絶品です
☎0854-86-0200



来てッ

遊んで

らとちゃん

かつて石見銀山の鉱夫が灯りとして利用していたサザエの殻を用いた灯り螺灯(らとう)をモチーフにした、石見銀山があり、海産物の豊富な大田らしいキャラクターです。

Ginzan

キャンペーン期間
6/23⇒12/24

☆主要イベントカレンダー☆

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仙ノ山のピークルツアー	■	■	■							
銀の道ウォークトリップ				■	■	■				
漁船クルーズ		■	■	■						
ゆのつ温泉夜神楽	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
石見銀山らとちゃんバス			■	■	■	■	■			
Ginzan Walking Museum 劇場		■	■	■	■	■	■			

期間中はこのほかにも、多彩な企画を展開しています。
くわしくは公式サイト、またはキャンペーン期間中に配布されるガイドブックをご覧ください。

石見銀山を展望する

仙ノ山のピークルツアー

山あいに息づく陣屋町の佇まいを眺め、江戸期には幾多の家屋が軒を連ねた石銀集落跡、明治期に建設された清水谷製錬所跡などを巡ります。仙ノ山山頂までは環境に優しいeビークル(電気自動車)でご案内いたします。



- 発着場所: 大森・銀山公園
- 運行期間: 6/1~8/31の月金土日祝、及び8/14~16(1日2便)
- 所要時間: 約2時間30分
- 参加料: お一人:1,800円
※1便あたりの最大乗車定員は8名

お申込み・お問合せ
株式会社石見観光大田営業所 ☎0854(82)0663



銀の運搬路を辿る

銀の道ウォークトリップ

古に思いを馳せるガイドツアー。戦国時代には攻防戦が展開された銀山守備のための山城を訪ねる「山吹城跡コース」と、銀の積み出しと物資補給が行われた港へ続く古道を辿る「沖泊コース」の2コースを設定しました。



- 発着場所: 石見銀山世界遺産センター
※山吹城跡コースは銀山公園で解散
- 開催期間: 9/1~11/25の土曜日(山吹城跡コース)、日曜日(沖泊コース)
- 所要時間: 山吹城跡コース:約4時間、沖泊コース:約7時間
- 参加料: 山吹城跡コース:1,000円、沖泊コース:2,000円

お申込み・お問合せ
株式会社石見観光大田営業所 ☎0854(82)0663



NEW COMER

おおだブランド
認証商品の紹介

『おおだブランド』は「誇れる」「売れる」商品づくりを進めるため、大田市を代表する商品を認証し、販売を支援する制度です。
今年度認証された5点を紹介します。



【問】大田市役所大田ブランド推進室 ☎0854-82-1600 (内線234)

500円 (200ml)



一宮酒造 (大田町)
発泡清酒「雪香」
アルコール度数は約5%と低めの飲み口のよい、発泡性タイプの日本酒です
☎0854-82-0057

630円 (1食分)



和田珍味 (五十猛町)
ふぐだし茶漬
贅沢なふぐだしと淡麗な味わいのふぐで仕上げたふぐだし茶漬です
☎0120-000-785 (フリーダイヤル)



参加者全員で記念撮影

「大代小学校」閉校

今回の統合により「大代小学校」が閉校となり137年の歴史に幕を閉じました。

大代小学校は明治7年に大家小学校、明治8年に八代小学校が設立され、大代地区における初等教育が始まりました。その後、教育制度の変更や市町村合併による名称変更が行われ、昭和32年に大田市立大代小学校となり、これまで多くの歴史と伝統を残してきました。昭和33年度には全児童318人いた同小も以後、児童数が減少し、平成23年度は6人、3クラスの複式学級となっていました。

また、肌寒い3月18日、閉校式を大代小学校体育館で行い、在校生をはじめ地元住民など約300人が出席しました。

また、閉校式の後に地元実行委員会主催によるお別

れ会「きづな」が開催されました。児童6人全員がステージに上がり、これまで学習してきた「ギフチョウの観察」や「ミツマタを使った紙すき体験」、「ゆずこしょうづくり」に「ソバ打ち体験」などを大代の自然と地域の皆さんの指導で学んだ成果を発表。そして、来賓として招かれた卒業生もあいさつ。それぞれの小学校の思い出話に、しばし目を閉じ懐かしさに浸る姿も…。

また、閉校を記念して児童や教職員を中心に、地域のみなさんに協力をいただきながら作ってきたタイル壁画の除幕も行われました。この壁画は小学校の正面玄関に飾られており、大江高山と小学校を背に神輿を元氣いっぱい担ぐ子どもたちが描かれています。原画は卒業生の森守さん（大代町）、壁画の木杵も卒業生の森下孝明さん（祖式町）が作られました。



大代小の全校児童とタイル壁画

新「高山小学校」開校

今回の統合は、「高山小学校・大代小学校統合準備協議会」が11ヶ月にわたり、統合に向けた諸課題を協議し、統合校舎の位置、名称、開校の時期、校歌、校章、通学方法、制服、体操服を決定しました。

桜の花がやっとはころび始めた4月9日、「高山小学校」と「大代小学校」の二校が統合された新「高山小学校」の開校式が行われました。

全児童41名（一年生4名、二年生4名、三年生8名、四年生8名、五年生8名、六年生9名）で新たな歴史を刻み始めました。

高山小学校の校区には大江高山をはじめとする豊かな自然、シツカク踊り、田植え囃子や花田植えといった貴重な地域文化や歴史、そして人々の知恵があります。高山小学校がこれまでどおり地域にとけ込み、地域と一体となった活動により、これらのすばらしさを子どもたちが引き継いでくれることを期待しています。



6年生全員での決意表明

シリーズ石見銀山② 石を使いこなす —石見銀山を支えた技術—

石見銀山には、石で造られたものが多く存在します。羅漢寺の五百羅漢やアーチ橋、古い石塔の数々、明治時代に造られた清水谷製錬所の石垣など、石の質も用途も様々です。今回は、石見銀山遺跡にある“石を使う技術”の痕跡をご紹介します。

公開坑道 龍源寺間歩の出口付近にある、妙像寺跡の石垣をご存知でしょうか。妙像寺は、16世紀に建てられた寺といわれています。この石垣には一石だけ、採石の場所（石切場）で石材を割るときにできた痕跡をもつものがあります。

石材を得るときは、材質や用途によって「割る」「切る」など方法が違います。その中でも、石を割るときには、「(鉄)矢」とよばれる楔状の工具を使います。この矢を使って、石の“目”に沿って一列に穴を開け、そこに衝撃を与えて割っていきます。妙像寺跡の石垣にあるものは、このときにできた痕跡と考えられます。石質の詳しい調査はされていませんが、石見銀山にある石垣の多くは、大森町内で採れる凝灰岩を使っているようです。

次に注目するのは、石の加工技術です。橋や清水谷製錬所の石垣に使われている石の中には、綺麗に形が整えられ、こまかい線のような痕跡をもつものがあります。石を削った鑿の痕跡です。鑿で石の面を平滑にする加工には、見た目の美しさアップもさることながら、石を組み合わせた際の強度を上げる役割もあります。石の面を整えると



羅漢町橋



妙像寺跡石垣の矢の痕跡

石同士の接着面が大きくなり、石と石がしっかりと組み合さります。より強く、より美しく。石垣や橋の勾配、アーチの弧を計算して、石を加工しています。

石で造られるものは、用途や立地、使用する石の質によって、石の切り出し方や割り方、加工の方法、石の配置や組み合わせが決まります。つまり、使い道や使用場所に応じて、石を使いこなしているのです。そこには地域性や時代性、職人の技術や知恵が反映されています。

このような“石を使う技術”は、石見銀山での生産や生活、文化を支えたものの一つといえます。技術の痕跡を辿りながら、石見銀山遺跡を散策してみるのはいかがでしょうか。

【問】石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183
ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

波根地区工業団地

進出企業

- ①……新生飼料(株)
飼料製造、食品加工
販売
- ②-1……イマックス(株)
理工事業
- ②-2……島根電機(株)
電気工業
- ②-3……康徳建設(株)
土木工業
- ②-4……丸田 計地業
- ③……島根電機(株)
(日本工業電子製造業)
電気機械器具製造業
- ④……(株)桜木精工
機械機械工業



波根地区
工業団地平面図

島根県内で最も安価な工業団地です！

☆分譲価格（1㎡あたり）7,000円

10,000㎡以上の分譲の場合（1㎡あたり）6,500円

☆割賦分譲も可能です。無利子で最長10年の元本均等払いが可能です！

☆事業用定期借地制度により、1㎡あたり年額175円で賃貸可能です。さらに!! 雇用が1人増えるごとに翌年度から1㎡あたり10円を減額!! 1㎡あたり年額115円まで減額できます！



所在地/大田市波根町
事業主体/大田市
総面積/20ha
分譲可能面積/6.4ha
最低分譲面積/1,000㎡
割賦分譲/可
賃貸借/可
電力供給/6.6KV線引込済
66KV線まで0.2km
用排水/水/上水道400㎡/日
水/自社処理後、波根川へ

平成6年3月から分譲を開始した『波根地区工業団地』では、現在7社が操業をしています。

市では平成23年に、県内で最も安価な分譲価格に改定し、無利子で最長10年分割払いを可能とするとともに、土地貸付制度も新たに創設して企業誘致を積極的に進めています。

また、市の企業立地奨励金（限度額5,000万円）も増加雇用従業員数を3人以上かつ投下固定資本額を2,700万円からと、より利用しやすい支給要件としました。

リスク分散等により他地域への立地をお考えの企業などをご存知でしたら、大田市役所産業企画課（☎0854-82-1600代）へご連絡ください。

琴ヶ浜盆踊り

日時 8月13日(月)・14日(火)
15日(水)
3日間とも21時頃～
会場 琴ヶ浜(仁摩町)
太鼓の音と口説きが夜空に響き、
鳴り砂で有名な琴ヶ浜海岸を会
場に優美な盆踊りが行われます。
大田市指定無形民俗文化財。
【問】 馬路まちづくりセンター
☎0854-88-9070

「鞆ヶ浦」港まつり

日時 8月15日(水)
9時30分～15時
会場 鞆ヶ浦(仁摩町馬路)
銀の積み出し港として栄えた鞆ヶ
浦でのイベントです。
海から見た石見銀山「島巡り」や
石見神楽、サテライト見学会、カ
ヌー体験など楽しさ満載です!!
【問】 馬路まちづくりセンター
☎0854-88-9070

2012三瓶高原 クロスカントリー大会



緑のじゅうたんを駆け抜ける
高原の風になろう!!

期日 8月19日(日) 雨天決行
会場 国立公園三瓶山西の原三瓶高
原クロスカントリーコース

参加料等

★クロスカントリー(2km、3km、5km、8km)
一般：3,000円

高校生以下：1,000円

★ウォークラン(1km、2km)

無料(当日参加も可)

ウォークランは完走を目的とし、
タイムはとりません。

参加資格

小学4年生以上で健康な人。ただ
し、5km、8kmへの出場は自己記録
が5kmは35分以内、8kmは50分以内
の方に限る。ウォークランは幼児以
上(幼児は保護者同伴)で健康な人
なら誰でも参加できます。

申込締切日 平成24年7月13日(金)

申込先

大田市教育委員会内三瓶高原クロス
カントリー大会事務局

☎0854-82-1600(内線313)

※詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.city.ohda.lg.jp/2154.html>

彼岸市「中日つあん」

期日 9月22日(土)、23日(日) 会場 大田市駅前通りなど
大田市駅前通りの両側に約2kmにわたって、露店が立ち並びます。
「おおだブランド」屋台村もありますよ!!
【問】 大田商工会議所 ☎0854-82-0765

棚田浪漫「ヨズクの里フォーラム」

期日 9月29日(土)予定 会場 大田市温泉津町西田「ヨズクの里」
全国ではここだけの稲ハデ架け「ヨズクハデ」や「西田葛」の里として、
その技や食文化を守る継承活動が行われています。この活動を検証
し、県内外へ情報発信するため、講演会や西田葛と地酒交流会を企画
しています。ヨズクハデのライトアップ、かがり火、竹灯籠の演出も。
【問】 湯里まちづくりセンター ☎0855-65-3038

2012全国鳴砂サミット IN 琴ヶ浜

期日 10月13日(土)、14日(日)
会場 仁摩サンドミュージアム、仁摩農村環境改善センター、琴ヶ浜
このサミットは、国内で約30ヶ所確認されている鳴砂の浜を将来
にわたって保全していくことを目的として「全国鳴砂ネットワ
ーク」が毎年開催しています。加藤登紀子さんの講演会など
【問】 大田市役所観光振興課 ☎0854-82-1600(代)
加藤登紀子さんの講演会について
仁摩サンドミュージアム ☎0854-88-3776

高野聖(こうやひじり)

期日 10月15日(月)
会場 喜多八幡宮、南八幡宮
(大田町)
高野聖や大幟、負幟などが行列
をつくって町を練り歩きます。
島根県指定無形民俗文化財。
【問】 大田まちづくりセンター
☎0854-82-6240

大田市立病院の救急医療について

「市立病院は4月から救急病院の指定を受けました」

これまで大田市立病院では、平成22年に救急指定を取り下げた
後も、救急診療に努め、可能な限りの救急患者を受入れてきまし
た。このような中、病院内で様々な検討を重ねた結果、救急指定
病院に相当する内容であると判断し、平成24年4月から救急指定
病院としての指定を受けることとなりました。

救急医療は住民の皆様にとって大切な医療です。引き続き厳し
い医療環境にありますが、大田市医師会や近隣の医療機関と一緒
になって救急医療を進めていきます。

【問】 大田市役所医療政策課 ☎0854-82-1600(代)



県が昨年6月から運行開始している
ドクターヘリの臨時離着陸場も市立
病院横に完成しました

おおだ情報BOX

小笠原流大代田植囃子

日時 7月17日(火) 15時頃～
 会場 大代町
 石清水八幡宮をスタートし、大代まちづくりセンターまで町を歩きます。大田市指定無形民俗文化財。
【問】 大代まちづくりセンター
 ☎0854-85-2204

キャンドルナイト in 波根海岸

期日 7月中旬
 会場 波根海岸
 キャンドルに浮かぶ波根海岸。波の音を聞きながら幻想的な夜をお楽しみください。
【問】 波根まちづくりセンター
 ☎0854-85-8625



第32回天領さん

★久手会場
 期日 8月4日(土)
 会場 久手港
 鼓笛隊パレード、灯籠流し、花火大会など
 ★大田会場
 期日 8月11日(土)
 会場 大田商工会議所 天領踊りなど
【問】 大田市役所産業企画課
 ☎0854-82-1600(代)



温泉津温泉夏祭り

期日 8月5日(日)
 会場 温泉津港周辺
 今年で40回目を迎える温泉津温泉夏祭り。メインの花火大会はもちろん、フードフェスタなど催しも盛りだくさん!!
【問】 銀の道商工会
 ☎0855-65-1110

温泉津竹灯籠

期日 8月11日(土)予定
 会場 龍御前神社(温泉津温泉街)
 龍御前神社で行われる夜神楽にあわせ、神社周辺に竹灯籠を灯します。普段とは一味違う、幻想的な雰囲気になります。
【問】 温泉津まちづくりセンター
 ☎0855-65-1522



にまごいせ祭

日時 8月12日(日) 18時～
 会場 仁摩サンドミュージアム周辺
 各種ステージイベントや屋台、花火(2,300発)など
 花火は20時30分～。荒天の場合は、翌日花火のみ実施。
【問】 ごいせ祭り実行委員会
 銀の道商工会経営支援センター内 ☎0854-88-2513

海神楽

期日 8月13日(月)
 会場 福光海水浴場
 ※雨天の場合は温泉津まちづくりセンターが会場
 福光海岸の美しい夕日やかがり火を背景に、勇壮な舞が繰り広げられます。
【問】 小林工房☎0855-65-2565
 温泉津温泉旅館組合(輝雲荘)
 ☎0855-65-2008



たてがみしま たてがみいわ 立神島と立神岩(波根町)



国道9号を久手町から波根町に向かって車で走ると、遠くに美しいコントラストの縞模様のある奇岩が見えてきます。この奇岩は、波根町の波根海岸にある「立神島」と「立神岩」と言います。

海から突き出ている烏帽子のように見える島を立神島と言います。海食崖の高さは約40mあります。立神島と対面するように海面から直角にそびえ立ち、きれいな白の縞模様の地層が見える岩を立神岩と言います。白い縞は凝灰岩でできており、高さは約80mあります。立神岩の先端部には立神灯台があり、近くの海上を往来する船舶の安全を見守っています。

夏の穏やかな海と冬の荒れる海の二つの顔を見せる日本海に対峙しながらも、いつも変わらない顔を見せる立神島と立神岩には、壮大さと包容力を感じます。波根町を見守る立神島と立神岩は波根町のランドマークであり、久手町からでも見ることでできる地元の景観の一つとなっています。

昨年の夏、波根海岸で漁火と海岸に並べたロウソクの灯りの風情を楽しむ夏の夕涼みイベント「キャンドルナイトin 波根海岸」を開催し、約千人もの客が訪れました。

地元の実行委員会では、波根町の地元住民参加型行事となることを目指し、今年も夏の開催に向けて進めていますので、この夏の思い出にぜひお越しください。

＝立神島・立神岩への行き方＝

県道波根久手線の「波根灘町」バス停から歩いて5分。

JR波根駅から歩いて10分。JR大田市駅から車で15分。

詳しくは、波根まちづくりセンター（☎0854-85-8625）まで



表紙 あの頃～瀬幣姫神社祭礼風景(昭和30年代・三瓶町池田)～

三瓶町池田の村田有郷さん(63歳)にお話を聞かせていただきました。浮布池の中之島に祀られている瀬幣姫神社の、年に一度の例大祭で、たくさんの方が神楽を楽しんでいます。毎年7月15日の例大祭には、浮布池の水のご利益を受けている、池田や近隣の町から、たくさんの方が参るため、臨時バスが出ていました。当時は、カレンダーにも「池の宮祭り」と印刷されていたほどです。

例大祭では、田植囃子や神楽のほか、境内に土俵があり相撲も奉納されていました。また、70年前頃はヤマモモなどのモモ売りが祭りの風物詩だったそうです。前夜祭は、湖面を渡る風がとても心地良かったことを思い出します。また、打ち上げ花火もきれいでしたが、池田青年団の人たちが三瓶山頂から松明を持って下山し、その明りが浮布池の湖面に映る様子は、とても美しい情景でした。祭りの当日は、対岸のお旅所へ舟渡行を行っていました。今もこの祭りは受け継がれ、前夜祭では地元自治会による神楽や出店、例大祭では地元保存会による田植囃子などが行われています。



三瓶山と浮布池

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL：0854-82-1600 FAX：0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail：o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索